

三島まちづくり計画書

【日本一の二次離島】をめざします
三つの愛で(話しあい・支えあい・笑いあい)

2025年度 ~ 2029年度



2025年3月 策定
三島まちづくり協議会

1. はじめに

三島まちづくり協議会の会長を務めます村上でございます。

まちづくり協議会は、地域の課題を地域みんなの力で解決し、安全・安心で更に住みやすい地域づくりを目指す組織です。令和元年10月1日、壱岐市で最初のまちづくり協議会として設立し、早いもので5年を迎えました。これまで安全・安心で、住みよいまちづくりを実現するため、役員をはじめ、地域皆様方のご支援、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

まちづくり協議会設立からの三島地区の現状を振り返りますと、少子高齢化による人口の大幅な減少や高齢者の日常生活の不安、商店がないことによる買い物の不便といった課題に加え、基幹産業である漁業では漁獲高の減少、魚価の低迷等、大変厳しい状況が続いており、漁業の後継者不足も大きな課題の一つです。このような様々な問題を解決するため、皆様からいただいた貴重なご意見を今後のまちづくりに反映させていきたいと思っております。

今後とも安全・安心で、住みよいまちづくりを実現するため、役員をはじめ、地域皆様方のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます、挨拶といたします。

三島まちづくり協議会
会長 村上 三国

2. 三島まちづくり計画策定の趣旨

三島地区は、大島、長島、原島の3島からなり、漁業を中心とした産業を主体とし、豊かな海と島が一つの大家族の様な絆で結ばれている人情味と大自然が魅力の地域です。

近年、漁業不振や生活スタイル、価値観の多様化など、三島の状況は大きく変化しており、三島が抱える課題も以前に比べて複雑・多様化しています。

「自分たちの暮らしている島をより安心して住みよい、今以上に魅力あふれる島にしたい。」これは三島島民共通の願いと課題であり、自治公民館をはじめ老人会・青年会・婦人会・消防団・学校・PTAなど、さまざまな団体が三島をよくするために活動しています。

今後さらに少子高齢化が進む中で、三島地区の活動の充実を図るために、三島島民が自ら考え、自ら行動し、将来に渡って自分たちの島は自分たちで守り、つくることが重要であるとの考えを基に、三島まちづくり計画書を策定します。

本計画は、今後、三島がどのような地域づくりを進めていくかについて、島民の意見を反映しながらさまざまな観点で見つめ直し、具体的な地域づくりについて事業計画に盛り込み、三島地区の更なる発展と三島島民一人ひとりが誇りを持って、安心して幸せに暮らすことができる島民主体のまちづくりの実現をめざし策定するものです。

3. 三島まちづくり計画の期間

三島まちづくり計画の期間は5年としますが、事業内容については、社会情勢の変化や島民ニーズの変化などに対応していくため、必要に応じて改定を行うことで、持続可能なまちづくりを推進していきます。

4. 三島地区の状況

① 三島地区の概要

三島は、壱岐島の南西部に位置し、大島・長島・原島の3島からなる二次離島です。大島には美しい海水浴場があり、原島には自生するスイセンが多く見られ、季節には原島スイセンとして出荷されており有名です。長島と大島に架かる珊瑚大橋からの夕日はとても美しく、夕涼みやランニングコースとしても親しまれています。

一方島民の生活は、唯一の公共交通・生活航路である市営のフェリーみしま(1日4便)を利用し、壱岐本島への通院・通学・通勤・日用品の買出し等を行っています。平成11年に大島と長島の間に珊瑚大橋が架けられ生活圏が一つになりましたが、人口減少や少子高齢化が進み、基幹産業である漁業についても、近年不漁が続き、就業者の減少、高齢化等、三島地区を取り巻く環境は年々厳しくなっております。

このような状況の中、地域課題の解決を図るためには、自治公民館をはじめ、様々な団体が協力して、島民が主体となった取り組みを進めていく必要があります。

② 三島地区の世帯数・人口の推移

		R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	R6.3
世帯数		127	125	122	121	119
人口	男	148	138	132	127	124
	女	146	142	136	129	123
	計	294	280	268	256	247

③ 三島地区の行事・活動

- 三島地区民運動会
- 秋祭り(三島各島)
- 漁供養
- 道路除草作業
- 年末防火活動
- 渡良地区球技大会
- 渡良地区育成球技大会
- 防災訓練



【珊瑚大橋】

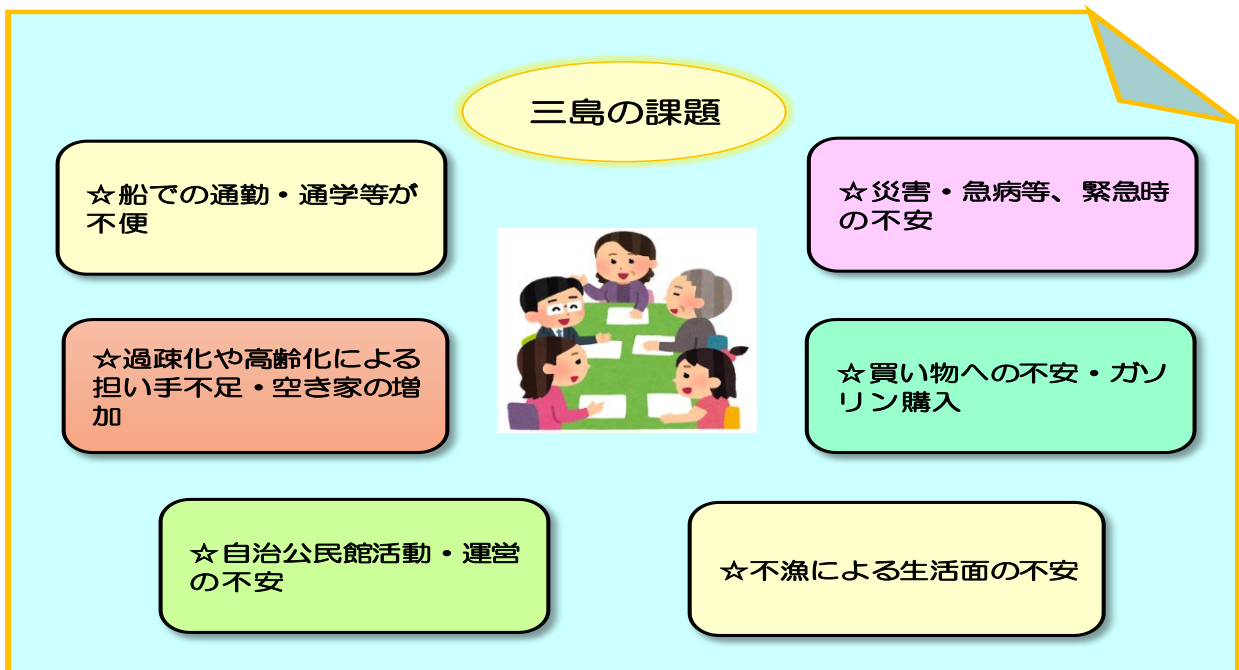
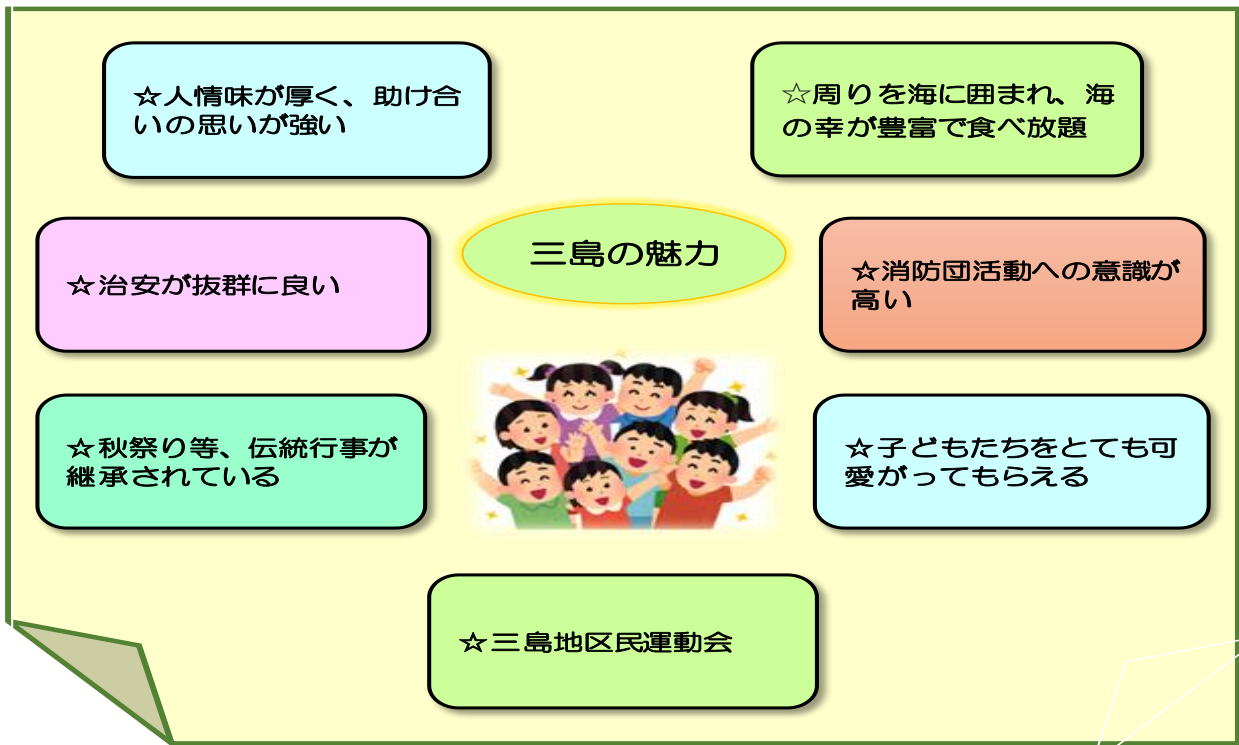
④ 三島地区の資源

【フェリーみしま】

- 豊かな海の恵みである海産物
- 豊かな漁場と漁法
- 離島がゆえに生まれ受け継がれてきた助け合いの心



5. 三島地区の魅力と課題



① 生活支援への対応が求められています。

三島地区が抱える問題のひとつは、買い物が困難な地域であることです。島内にはスーパーマーケットがないため、壱岐本島までフェリーを利用して買い物に行かなくてはなりません。ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が増加する中、買い物など生活支援への対応が求められています。

② 防災及び交通安全対策が求められています。

自然災害との複合災害等に備え、放射線防護対策施設が三島各島に整備され、毎年防災訓練等も実施されております。近年、消防団員も減少し高齢化しておりますが、消防意識は高く、操法大会等での活躍により消防団の団結及び島民の防火に対する意識向上にも繋がっています。

今後も災害や急患等の緊急時に備え、島民相互のつながりを深め、消防団・自主防災組織との連携を一層強化して、さらなる防災力向上と急患搬送体制の支援を図ることが求められています。

また、道路が狭いなどの環境面から、通学路をはじめ、地域における危険箇所を再調査・確認し、子どもから高齢者まで安心・安全な生活環境を整える取り組みが必要となっています。

③ 三島地区全体で子どもや高齢者への対応が求められています。

三島地区では少子高齢化が進み、高齢化率（65歳以上）は令和5年12月末で51.2%であり、壱岐市全体の39.2%を大きく上回る状況です。ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯も年々増加しています。これからは三島地区全体で子どもや高齢者の見守りと、島に住む人々が気軽に集まり、ふれあえる環境づくりが求められています。

6. 三島まちづくりビジョン

① 人と人とのつながりをより大切に

② 三つの愛で（話しあい・支えあい・笑いあい）

③ 三島が三本の矢の如く結束し、強くしなやかで粘りある笑顔と活気あふれる「日本一の二次離島」をめざします。



7. 三島地区アンケート結果

まちづくり協議会を知っていますか。

- | | |
|--------|------|
| ・知っている | 70 人 |
| ・知らない | 2 人 |

まちづくり協議会の活動に満足していますか。

- | | |
|-----------------|------|
| ・満足している | 13 人 |
| ・どちらかと言えば満足している | 51 人 |
| ・満足していない | 7 人 |

まちづくり協議会の活動に今後も参加したいですか。

- | | |
|----------|------|
| ・参加したい | 50 人 |
| ・参加したくない | 14 人 |

まちづくり協議会の活動に参加している理由は何ですか。

- | | |
|-------------|------|
| ・地域を良くしたいから | 28 人 |
| ・活動が楽しいから | 6 人 |
| ・役職に就いているから | 3 人 |
| ・参加要請があるから | 21 人 |
| ・その他 | 5 人 |

まちづくり協議会の活動で参加してみたい活動は何ですか。

- | | |
|-------------|------|
| ・青少年健全育成 | 2 人 |
| ・環境美化 | 31 人 |
| ・趣味、教養、芸術 | 8 人 |
| ・スポーツ | 5 人 |
| ・伝統・文化 | 19 人 |
| ・防犯、防災、交通安全 | 13 人 |
| ・各種ボランティア | 16 人 |

あなたが感じている三島地域の現状について

① 生活道路の整備状況について

満足 6人・やや満足 5人・普通 35人・やや不満 14人・不満 12人

② ごみ、リサイクル収集について

満足 10人・やや満足 14人・普通 35人・やや不満 7人・不満 5人

③ 公共交通の利便性について

満足 3人・やや満足 3人・普通 21人・やや不満 23人・不満 22人

④ 食料や生活品の確保、買い物等の利便性について

満足 3人・やや満足 2人・普通 23人・やや不満 24人・不満 20人

⑤ 高齢者等への福祉環境について

満足 3人・やや満足 7人・普通 29人・やや不満 17人・不満 13人

⑥ 子育て支援環境について

満足 1人・やや満足 1人・普通 40人・やや不満 13人・不満 11人

⑦ 防犯、安全対策について

満足 4人・やや満足 8人・普通 36人・やや不満 9人・不満 14人

⑧ 災害時など緊急時の安全対策について

満足 4人・やや満足 8人・普通 20人・やや不満 18人・不満 19人

⑨ 地域の行事について

満足 4人・やや満足 6人・普通 52人・やや不満 7人・不満 2人

⑩ 住民同士のふれあい、近隣関係について

満足 7人・やや満足 8人・普通 48人・やや不満 4人・不満 3人

地域の課題は何ですか。

・後継者不足	58人
・自治公民館運営	26人
・伝統・文化の継承	13人
・防犯・防災・交通安全対策	20人
・課題はない	1人
・その他	2人

地域に不足しているものは何ですか。

・就労先	36 人
・商店	47 人
・公共交通	46 人
・後継者	51 人
・寄合所	9 人
・特にない	3 人

地域で未来に残したいものは何ですか。

- ・第二次世界大戦後の砲台跡（大島）
- ・青い海と白い砂浜、青松の海水浴場（大島）
- ・兵舎小屋、発電所跡（長島）
- ・栽培センター（養殖場）大島
- ・神社（三島地区）特に原島：日本の神社でも祀られていない神様が天神神社（原島）奈良、東京、福岡、全国各地から参拝に来島される。
- ・珊瑚大橋
- ・御大師様（三島）吉岐の島の八十八箇所の中の三箇所

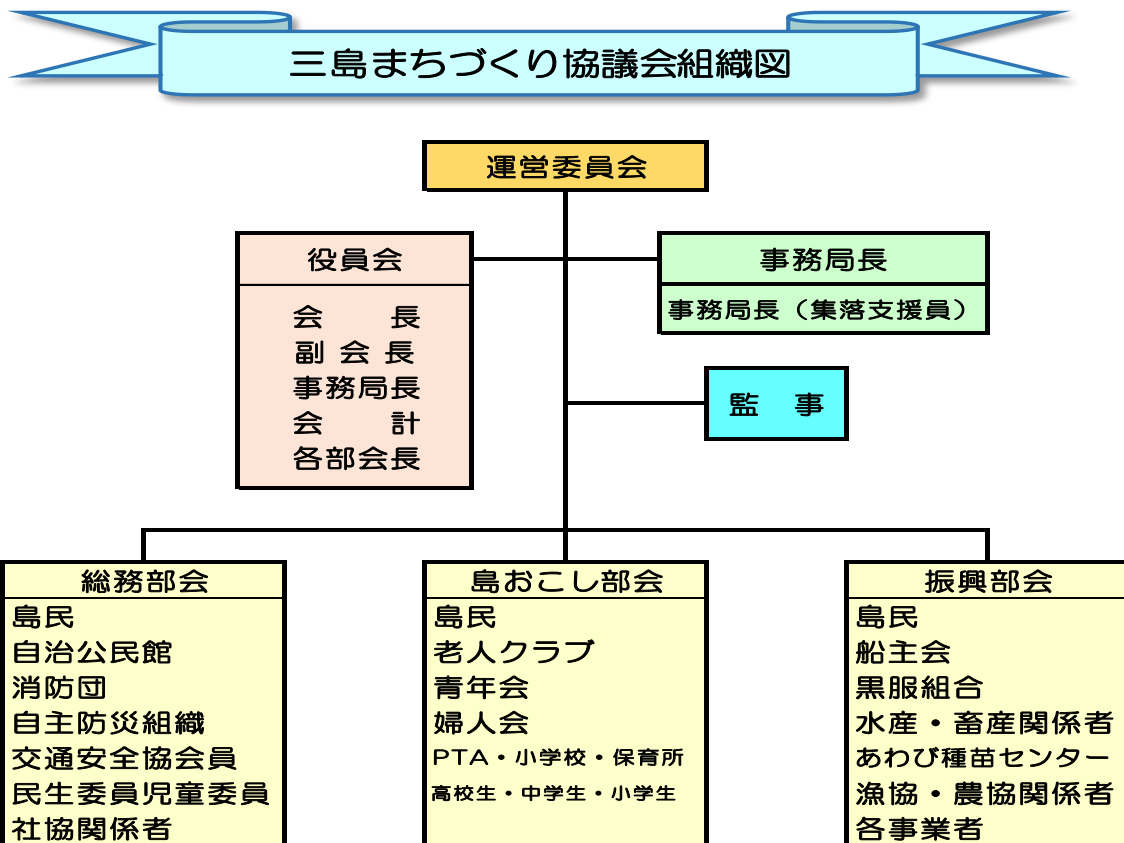
地域の自慢は何ですか。

- ・第二次世界大戦後の砲台跡（大島）：兵舎小屋・発電所跡（長島）：神社（原島）
- ・お祭り（三島）
- ・夏～秋の各島から見える夕日の沈む頃の景色
- ・各島（三島）の方の心の温かさ、助け合い、人との繋がり
- ・静かでのどかな所
- ・食べ物がおいしい（特に新鮮な魚）
- ・青い海と白い砂浜の海水浴場の美しさ
- ・自然豊かで、美しい海

8. 三島まちづくり協議会組織図

三島まちづくり協議会は、三島地区島民をはじめ、各種活動団体で構成されています。

三島地区における課題・問題等を島民自ら考え、三島地区の将来あるべき姿の実現をめざすため、3つの専門部会を設置し、島民の意見が反映される体制を図りながら、島民主体のまちづくりを進めていきます。



部 会 名	活 動 内 容
総務部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物支援 ・ 防災訓練、危険箇所調査 ・ 環境保全美化活動 ・ 広報活動 ・ 急患等搬送体制の支援
島おこし部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見守り支援（子ども・高齢者） ・ 三世代交流事業 ・ コミュニティサロン
振興部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化継承活動 ・ 港内スロー活動

9. 三島まちづくり事業計画

《地域保全型活動》

【買い物支援】

事業内容： 食品や日用品などの買い物支援を行います。

事業計画： 市内スーパーとの連携を図り、販売している商品を三島まで届ける宅配サービスの利用を推進します。



（市内スーパーで事前に配布されるカタログから選んだ商品を電話で注文し、三島まで配達してもらうサービス）

また、自船での買い物等についても、接岸場所、駐車場等、利便性の向上を目指し協議を進めていきます。

事業内容： 移動販売業者との連携による買い物支援を行いません。

事業計画： 市内移動販売業者が毎週火曜日、各島を訪問し実際に商品を手に取って買い物をしてもらうサービスを継続します。

【防災及び交通安全対策】

事業内容： 安全・安心のまちづくりのために、防災及び交通安全対策への取り組みを行います。

事業計画： 具体的な防災・減災対策の検討及び防災訓練については、消防団・自主防災組織と連携して三島地区全体での取り組みを行い、島民がそれぞれの役割を果たす「自助」、「共助」の精神で、島民意識の向上と地域の防災力を高め、急患等の緊急時には、搬送体制の支援を行います。



高齢化が進む中、車両及び船舶の交通安全対策として、港内スローの徹底や港内標示、道路標示、運転者への注意喚起等への取り組みを行います。また、三島地区における危険箇所を再調査・確認し、情報を共有するとともに、整備を含め改善策を検討します。

【子ども見守り支援】

事業内容： 子どもの安全・安心確保のため、登下校時など見守り支援を行います。

事業計画： 三島地区においては、少子化も大きな問題であり、次代を担う子どもたちの豊かな成長を三島地区全体で支えるとともに、見守る力を向上させるために、通学路を点検し、危険箇所の把握・周知・改善を図り、安全を確保して、子どもや保護者の不安解消につなげます。



さらには、この活動を通じて、子どもたちとのつながりを深め、若い世代における結婚意識の向上と子育て環境を充実させることで地域活性化につなげていきます。

【高齢者見守り支援】

事業内容： 高齢者やひとり暮らしの世帯を定期的に訪問し、困りごとなど相談できる体制を構築します。

事業計画： 地域と集落支援員が連携を図り、高齢者やひとり暮らしの世帯を定期的に訪問し、コミュニケーションをとることで、高齢者の不安を取り除き、詐欺被害等を未然に防止します。



また、広報活動を通じて、島民の見守り支援への理解と意識向上を図り、安心して暮らせる島を目指して、高齢化社会への対策を進めていきます。

《地域活性化型活動》

【遺構を活かした島の賑わい】

事業内容： シンボルとなる砲台跡などを整備し、観光客などの関係人口の増加による島の活気と賑わいにつなげます。

事業計画： 歴史的遺構への興味・関心の高まりを捉え、砲台跡や伝統・文化としての神社の整備などに取り組みます。

【三世代交流事業】

事業内容： 三世代交流を通じて相互理解を深め、三島地区の課題解決につなげます。

事業計画： ふれあいと親睦を深めるために、誰もが無理なく参加できる三島地区民運動会を9月に開催します。交流を通じて相互理解と三島地区の課題解決にもつなげていきます。



また、小学校との連携により、子どもと老人クラブ等との交流を行い、伝統文化や生活の知恵を学び、子どもと高齢者がいつまでも元気で、相互理解を深めることで地域の活性化につなげていきます。

【コミュニティサロン】

事業内容： 島民誰もが自由に利用できる対話の場（コミュニティサロン）をつくりま

す。
事業計画： 島民の誰もが気軽に集える場をつくり、高齢者の健康・介護予防を推進する一方で、お互い自由に意見交換することで世代間の交流を深め、誰もが生き生きと現役で暮らせる島を目指します。



また、週一回の診療所開設を利用し、医者からの指導・助言をいただきながら、健康維持とふれあいの場となる環境整備を進めていきます。

【伝統文化継承活動】

事業内容： 受け継がれてきた島の伝統文化を若い世代へ継承します。

事業計画： 代々受け継がれ、親しまれてきた島の秋祭りや魚供養等を、島民負担の軽減を図りながら継承していきます。



また、伝統文化である「島人の心」を守り、新たな工夫も取り入れながら、若い世代が趣旨を理解し、積極的に参加できる環境を整え、伝統文化の継承と島の活性化につなげていきます。

10. おわりに

三島まちづくり協議会は、大島・長島・原島の島民皆様はもちろん、自治公民館、各種組織・団体、行政が連携しながら、協働のまちづくりを展開し、様々な行事・事業を企画・運営する役割を担っております。

今後とも各種組織・団体と対等な立場で横断的な連携を図り相互関係を保ちながら、島民一人一人が考え行動し、島民が主役の「まちづくり」を目指します。

本計画に沿って三島地区のあるべき姿の実現に向け、活発な活動を進めてまいりますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

三島まちづくり協議会のあゆみ

令和元年 10月 1日	三島まちづくり協議会設立
令和元年 10月 15日	高齢者見守り支援
令和2年 6月 25日	コミュニティサロン（健康講話開設）
令和3年 2月 12日	原島地区：交流の場・憩いの場整備
令和3年 11月 11日	大島地区：憩いの場に通がる参道整備
令和4年 12月 1日	移動販売車の誘致
令和4年 12月 5日	消防車格納庫へつながる連絡道路の整
令和5年 6月 26日	介護予防教室開催
令和6年 3月 30日	郷ノ浦三島発着所・三島地区案内板設置
令和6年 6月 1日	集落支援員補助員の配置